

# 鶏卵肉情報 Contents

2013年夏季特大号 <http://www.keiran-niku.co.jp/>

特集

## 鶏卵肉産業の底力 グローバル化のさらなる進展と潜在成長力

- 46 新時代へのサバイバル戦略を打ち立て／質実ともに世界のトップランナー目指せ
- 55 TPP参加の養鶏業界への影響を探る  
日本が初交渉、関税撤廃原則の行方は？
- 62 ブロイラー産業の課題と潜在成長力  
5%の消費拡大へ、ピンチをチャンスに  
一般社団法人日本食鳥協会 芳賀仁会長に聞く
- 66 養鶏飼料へのトウモロコシ低脂肪DDGSの利用  
～飼料からみた養鶏産業の潜在成長力～  
木村畜産技術士事務所代表／日本獣医生命科学大学名誉教授 木村信熙
- 71 日本のTPP交渉参加とWTO—米国、EUの軸足は広域FTAへ  
青山学院大学経営学部教授／同大学WTO研究センター所長 岩田伸人



### インタビュー

- 74 配合飼料メーカーで国内初のISO22000取得  
重要性増す食の安全性確保に全社体制で臨む  
日清丸紅飼料(株)執行役員品質保証部長  
土橋裕司氏に聞く

### 業界の動き

- 42 種鶏導入119・3万羽、2・9%減少  
年間762万羽過剰—白色卵は微減傾向  
◇レイヤー素ひな計画生産検討会  
種鶏導入512・9万羽、0・7%減少  
餌付抑制、素ひな需給はやや余剰気味に  
◇ブロイラー素ひな計画生産検討会

### 調査報告

- 128 厚労省が平成24年度の食鳥検査実態調査結果など公表  
ブロイラー処理羽数6億6868万羽、対前年度比102.5%

### オピニオン

- 78 米国養鶏業界におけるアニマルウェルフェアの現状  
(株)イシイ代表取締役社長 竹内正博

### 技術動向

- 84 発酵液体飼料の進展と養鶏への応用(I)  
名古屋大学名誉教授 奥村純市

### ニュース

- 106 ◎チャリダーたちがタスキをつなぐ／たまニコアゲイン7月に九州を北上ほか  
120 農水省が全国養鶏需給等連絡会議を開催  
『需要に見合った生産、で共通認識求める

### 連載

- 134 困った時は、鶏に聞け！⑪  
白田一敏  
167 農業界にモノ申す！⑭  
編集部 門馬照久  
168 最近話題のニワトリの病気 ⑧  
竹原一明

### 農林統計

- 157 初生雛輸入検疫羽根数（6月分）  
164 配合・混合飼料の生産・出荷・在庫状況（5月分）

### 相場

- 158 鶏卵規格別相場／食鳥相場  
160 マーケット情報▽  
鶏卵相場予想 [東京・大阪]／食鳥相場予想  
／鶏肉輸入予想

# 米国養鶏業界における アニマルウェルフェアの現状

## 連邦法エッグビル不成立、ケージフリー卵は定着へ

(株)イシイ代表取締役社長  
竹内正博

### はじめに

2013年6月、米国連邦法に追加されたなかつたエッグビル（エンリッチでない採卵ケージ飼養禁止法）の影響を主に調べるために、筆者は米国動物愛護協会（HSUS）と全米鶏卵生産者協会（UEP）を訪問、現地のスーパーマーケットで市場調査等を行つた。その概要を報告する。

### (1) 米国ブロイラー業界の現状

#### 量販店での鶏肉表示

今回、2013年6月27日に訪れた、アトランタ近郊にある米国最大手量販店ウォルマートと自然食品・オーガニック専門店ホールフーズで調べた鶏肉表示と価格を紹介する。ウォルマート店では、主にターソン社のムネ肉が100グラム当たり1・06ドルで、パックには人工的原料無添加（No Artificial Ingredients）、手でスライス（Manually Processed）と表示。ハーベストランド社のムネ肉は同1・21ドルで、「抗生素質無投与飼育・動

物性タンパク質無投与・人道的飼育（Humanely Raised）、ケージフリー飼育（Raised Cage Free）と表示されたパックで販売されていた。

両者の違いは飼育方法が表示されているか否かである。大手であるターソン社の飼育方法は無表示だが、ハーベストランド社は飼育方法を表示している。一方、自然食品店のホールフーズの店舗では、鶏肉は5段階のアニマルウェルフェア基準（写真1）で飼育方法がランク付けされていた。第1段階でケージ不使用と薄い飼育密度、第2段階でエンリッチな環境での飼育、第3段階でエンリッチな野外アクセスで飼育、第4段階でフリーレンジ飼育、第5段階でいねいな取り扱いとフリーレンジ飼育が、主な段階別飼育基準として求められる。量販店として初めて、ホールフーズのみが肉用鶏・豚・肉用牛・七面鳥にアニマルウェルフェア自主基準を運用している。

アニマルウェルフェア段階2の表示シール「エンリッチな環境」の鶏肉のみが販売されていた。表1はホールフーズのアニマルウェルフェア基準である。

過去に飼料と抗生素質に関する表

表1:ホールフーズの肉用鶏アニマルウェルフェア基準  
(出所:ホールフーズ肉用鶏・豚・肉用牛・七面鳥アニマルウェルフェア基準カタログ)

オレンジ色	オレンジ色+	黄色	緑色	緑色	緑色+
(第1段階)	(第2段階)	(第3段階)	(第4段階)	(第5段階)	(第5段階+)
ケージ不使用と薄い飼育密度	エンリッチな環境	エンリッチな野外アクセス	フリーレンジ飼育	丁寧な取り扱いとフリーレンジ飼育	インテ農場で初生雛の種鶏孵化(*)
				500羽飼育(*)	左に同様
				2羽以下のキャッチング(*)	一度に鶏を垂直に運ぶ(*)
				止まり木(*)	左に同様
			自然行動を促す採餌場所で十分な植物(*)	左に同様	左に同様
		野外は50%以上の植物スペース(*)	野外は75%以上の植物スペース(*)	左に同様	左に同様
	野外で日が当らない場所(陰) (*)	左に同様	常に放飼、又は採餌スペース(*)	左に同様	左に同様
	継続的に野外にアクセス、季節的に困難な時期に鶏舎内で採餌スペース(*)	常に放飼、又は採餌スペース(*)	季節的に困難な時期に鶏舎内で採餌スペース	常に放飼、又は採餌スペース(*)	左に同様
	鶏舎で他の鶏から隠れる、又は離すカバー又はブラインド(*)	左に同様	野生動物からの保護、野外と鶏舎内で他の鶏から隠れる、又は離すカバー又はブラインド(*)	野生動物からの保護、野外で他の鶏から隠れる、又は離すカバー又はブラインド(*)	左に同様
	最低1つエンリッチメント(*)	最低2つのエンリッチメント(*)	左に同様	放牧でエンリッチメント*	左に同様
輸送8時間以内	左に同様	輸送4時間以内(*)	左に同様	左に同様	輸送2時間以内(*)
デビック、去勢、トリミング、断冠の禁止	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様
羽を広げる十分なスペース、他の鶏に接しない羽つぐり(砂浴び)	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様
抗生物質無投与、動物性タンパク質無投与、成長ホルモン無投与	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様
農場と輸送の第三者監査	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様	左に同様

示はあつたが、消費者に対して飼育方法に関する情報を表示するのが現在の傾向となっている。ウォルマートのアトランタ近郊店で、タイソン社の鶏肉の横に別会社の鶏肉がケー

ジフリー飼育と表示販売されていたのは、筆者は大変驚いた。ホールフーズのアニマルウェルフェア基準は、米国の他の量販店にも影響を与えるように思われる。

米国のブロイラー生産状況および食鳥処理場運営についての現状調査計画

日本国内で20年以上前、米国を作成された食鳥検査制度は、そ

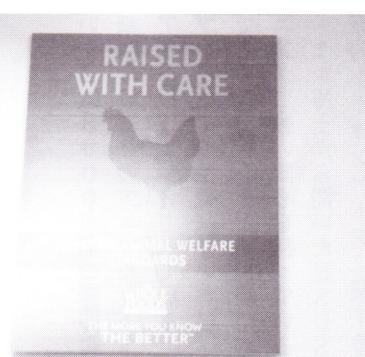


写真1:アニマルウェルフェア基準の第2段階シールと鶏肉売り場の看板(2013年6月26日ホールフーズアトランタ近郊店)

の後において改訂されていない。そ

こで、国産食鳥産業はTPP対応と検査制度見直しに必要な施策を講じる必要がある。2013年秋に、筆者は業界関係者と米国家さん評議会（NCC=National Chicken Council）、米国農務省（USDA=US Department of Agriculture）、ブロイラーインテ企業訪問と量販店市場調査を計画している。アニマルウェルフエアの側面から米国におけるブロイラー生産状況および食鳥処理場の運営について現状調査を行い、2014年1月の本誌新春号で結果報告をできればと思っている。

#### 議員連盟

話は変わるが、EUとカナダは輸入鶏肉に高い関税を課している。例えば、EUはCommission Regulation(EC)No.949/2006規則によつて、輸入国に対して冷凍脱骨鶏肉の塩漬けを義務付けており、関税をかけることで国産品と競合しないように取り決めている。同様にTPP加盟国のかなでも、国産の採卵・ブロイラー・乳牛・七面鳥は非常に高い関税を設けている。事実として、EU諸国とカナダでは国産鶏肉は関

税で守られているのである。

国内養豚と採卵業界にもあるように、国産ブロイラー業界にも、自由評議会（NCC=National Chicken Council）が今年8月に設立されると聞いています。今後ともわが国の食鳥産業が維持・発展できるよう、議員連盟の先生方に国産鶏肉が生き残れるような施策を期待したい。

## (2)米国採卵業界におけるアニマルウェルフエアの現状

### HSUS訪問

2013年6月25日、筆者は(有)北海道種鶏農場の川上社長と「エンリッチでない採卵ケージ飼養禁止連邦法」(エッグビル)の制定の動きを知るためにHSUS本部を訪問し、サラ・シールド博士とチエタナ・ミル博士(写真2)から話を聞いた。

「2005年からHSUSは従来型ケージ使用禁止のキヤンペーン投資を始めて、U

50名のスタッフを有する代表的な動物愛護団体である。過去2年間にわたり取り組んできたエッグビルは

結果、ケージフリー採卵鶏飼育の

卵市場占有率は過去1年間に50%増、全体の5%から8%に増加して

いる。しかし、米国内で飼養されて多くの国会議員の写真が貼られていて、エッグビル法制化の厳しいやり取りが想像できた。

この団体は、家畜分野では採卵鶏・豚・ブロイラー・肉用牛の順で、動物福祉に力を入れてきたようである。現在のHSUSの優先順位は妊娠豚用ストール飼育禁止キヤンペーンで、2012年にマクドナルドは米国でストール飼育豚を使わないよう決めている。シールド博士は採卵鶏に対する過去の取り組み経過と題した資料(下記)を我々に示し、次のように語った。

写真2：左からHSUS本部のチエタナ・ミレ博士、アダム・レイマン氏、サラ・シールド博士、筆者、川上社長(2013年6月26日)



中で、興味深かったのはアジアでもケージ禁止国があることである。ブータンは2012年に採卵鶏のケージ飼育を禁止している。

**H S U S の採卵鶏への取り組み経過**

H S U S は2005年1月より

2013年1月	喫茶店チェーンのエウボン・ペイン (Au Bon Pain) は2017年にケージフリー100%卵を目指す。マリオットホテル (Marriott International) は2015年までに納品業者にケージフリー生産システムからの卵と卵製品に切り替えるように要求すると発表。
2012年9月	ダニキンギーナッツ (Dunkin'Donuts) は5%のケージフリー卵に切り替えると発表。
2012年8月	世界で2番目の大手食品サービス会社であるソデックス社 (Sodexo) は、使用するすべての殻付卵3900万個をケージフリーに切り替える。
2012年6月	ハイアットホテル (Hyatt Hotel) はすべてケージフリー卵に切り替える。
2012年4月	バーガーキング (Burger King) はすべてケージフリー卵に切り替えると発表。
2012年2月	ボン・アペティ・マネジメント (Bon Appétit Management Company) はすべてケージフリー卵に切り替える最初の主な食品サービス供給企業となる。
2011年7月	コナグラフーズ (ConAgra Foods) は100万個の卵をケージフリーに切り替える。
2011年4月	食品製造大手のゼネラル・ミルズ (General Mills) は100万個の卵をケージフリーに切り替えると発表。
2011年2月	米国で700店舗を持つワタバーガー (Whataburger) はケージフリー卵を使い始める。
2011年1月	バリラ (Barilla) はケージフリー卵を使い始めた最初のパスタ製造業者になる。

ケージフリー卵のキャンペーンを開始した。H S U S からいたいだいた下記の資料は、ケージフリー生産システムから生産される食用卵へ切り替える食品企業と外食企業等の経過一覧表である。

2010年11月	米国で最大手の食品製造業者のクラフトフーズ (Kraft Foods) は200万個の卵をケージフリーに切り替える。
2010年10月	バージン・アメリカ (Virgin America) はケージフリー卵に切り替える最初の航空会社となる。
2010年9月	クッキー 製造業者のオチス・スパンクメイヤー (Otis Spunkmeyer) はケージフリー卵への移行を決定。
2010年8月	ロイヤル・カリベアン・カーニバル (Royal Caribbean and Carnival) はケージフリー卵に切り替える最初の船舶企業である。
2010年7月	カリフォルニア州は2015年までに州内で販売するすべての卵はケージフリーとする州法を制定。
2010年6月	H S U S はオハイオ州知事と、新しいケージ農場の建設を禁止する包括的な動物福祉契約を締結。
2010年5月	サラ・リー (Sara Lee) は100万個の卵をケージフリーに切り替えると発表。
2010年3月	パンケーキ等のレストランのアイエイチオピー (IHOP) は何百万個の卵をケージフリーに切り替え始めると発表。
2010年3月	世界で他のどのレストランより店舗を持つサブウェイ (Subway) は100%ケージフリー卵に切り替えると発表する最初の主なレストラン・ショップとなる。
2010年2月	ヘルマヘ (Hellmann) はマリネーズ用の原料卵を100%ケージフリー卵に切り替えると発表。
2010年1月	3500店舗のレストランを持つソニック (Sonic) はケージフリー卵を使い始めると発表。
2010年1月	ウォルマート (Wal-Mart) はすべてのプライマー・ブランド卵を100%ケージフリーと発表。
2009年10月	ミシガン州は2010年までに州内でケージ飼育を禁止する州法を可決。
2009年5月	ハンバーガー店舗を経営するレッド・ロビン (Red Robin) はすべての卵をケージフリーに切り替えると発表。
2008年11月	ウェンディ (Wendy) は幾らかのケージフリー卵を使い始める。

2008年2月	朝食レストランの大手デニーズ (Denny's) は幾つかケージフリー卵を使い始める。
2008年2月	スーパー・マーケットのセイフウェイ (Safeway) は販売するフリーケージ卵の数を率先して増やし始める。
2007年12月	世界最大の食品サービス供給者のコンパスグループ (Compass Group) はすべての事業でケージフリー卵を使うことにする。
2007年3月	大手ファストフードのバーガーチング (Burger King) はケージフリー卵に切り替える始める最初の主なレストランとなる。
2007年3月	有名シェフのウツルフ・ギャング・パック (Wolfgang Puck) は彼のすべてのレストランでケージフリー卵に切り替える。
2006年9月	アイスクリーム店のベンとジェリー (Ben & Jerry's) はケージ卵の使用を止め始める。
2005年11月	オーガニック・スーパー・ケットのトレイダー・ジロー (Trader Joe's) はブランド卵をケージフリーになると発表。
2005年10月	ボン・アベチット・マネーメント (Bon Appétit Management Company) は400店のコーヒーショップでケージ飼育卵の使用を禁止すると発表。
2005年5月	ホールフーズ (Whole Foods Market) とワイルド・オウツ (Wild Oats Natural Marketplace) はケージ飼育卵の販売を中止すると発表。
2005年1月	H.S.U.Sがケージフリー（ケージ飼育されない）卵のキャンペーン開始。

## 第2回UEP訪問

2013年6月26日にUEPのチャッド・グレゴリーCEO（写真3）（前ジーン・グレゴリーCEOの息子さん）を有北海道種鶏農場の川上社長と筆者は訪問し、エッギビルの連邦法は可決されるのか否決されるのかについて話を聞いた。一番印象に残ったグレゴリーCEOの言葉は、約3時間の意見交換が終わる頃に聞

いた質問「連邦法成立の可能性は何%ですか」に対する返答——「2週間前の連邦法成立可能性は70%から75%であったが、今は1%から2%になっている」である。つまり、

エッギビル成立の可能性はなくなつたとCEOは語つたのである。

ルール委員会でエッギビルは、5年に1度改訂されるファームビルに追加されなかつた。その理由は、全

A）と全米豚肉生産者協会（NPPC）が、家畜福祉の考えを取り入れたエッギビルが養豚と肉用牛にも広がることを懸念し、成立阻止に向けてロビー活動を行い、有望視されたエッギビルを不成立に追い込んだためである。UEPのグレゴリーCEOは反対理由を、①米国では養豚農家数6万5000戸、牛農家数10万戸と比較して、採卵農家数は200戸と少ない②衛生問題で乳牛の尻尾は搾乳時に切られるが、酪農家は牛の尻尾切りが禁止になるのではと心配する③養豚農家は妊娠豚用ストール飼育の禁止を心配する（すでに2013年1月よりEUでは妊娠豚用ストール飼育は禁止されている）と述べている。

エッギビルが不成立となつた場合、米国の採卵業界はどうなるのだろうか。意見交換の最初に、チャットCEOはエッギビル成立を目指す理由を1枚の写真（写真4）で説明してくれた。写真の下に書かれている文章を翻訳すると、「この写真是、なぜエッギビルが可決される必要があるかをよく総括している。これは3年前に建設された大規模採卵農場

である。場所はオハイオ州に接するインディアナ州にある。農場経営者はオハイオ州の人間だが、住民投票制を持たないインディアナ州が建設用地に選ばれた。これが、我々（UEP）が採卵鶏舎基準の連邦法を持つとしている理由である」。

補足説明をすると、50州からなる米国では、24州の住民が住民投票で州法を可決することができる。24州の中で、カルフォルニア、ワシントン、オレゴン、ミシガン、オハイオの各州は、すでに住民投票でエンリッチでないケージ禁止州法を可決している。インディアナ州は住民投票制度を持たない26州の一つの州である。エンリッチでないケージ禁止州法を持つ各州では、採卵経営者は他の州で採卵農場を建設し、他の州で従業員を雇用し、他の州で卵を生産・販売し、他の州で税金を支払う方向になる。これは警告の意味もある。近い将来、19州（24州マイナス5州）も、5州と同様な州法を住民投票で可決するかもしれない。その場合、採卵生産者と量販店はすべての異なる州法に基づいて生産された卵について、どのように対応していくのであろうか。米国の採卵業界



写真3：UEP本部のチャッド・グレゴリーCEO（右）(2013年6月26日)



写真4：オハイオ州に接するインディアナ州の採卵農場

**米国採卵業界の短期方向性**  
このように、エンリッヂドケージが禁止する。

ケージは、ケージの中に止まり木、巣箱、砂浴び場を設置し、ケージ全体の床面積自体を大きくしたもので、従来のバタリーケージよりもアニマルウェルフェアに配慮した飼養システムといわれている。

## まとめ

米国では、鶏肉において消費者にアニマルウェルフェアが認知され始めており、先を行く採卵においてケージフリー卵は市民権を持ちつつあるように感じた。

アニマルウェルフェアの側面から米国におけるブロイラー生産状況および食鳥処理場の運営について、本誌新春号（2014年1月）で現状ではないケージを禁止している。

は混乱が続くことになるだろう。  
米国量販店での卵表示  
2013年6月27日に、アトランタ近郊にある米国最大手量販店「ウォルマート」を訪ね、陳列されている卵の表示と価格を調べた。約5%の卵は「ケージフリー」の表示

で陳列棚に並べられていた。オーガニック卵（12個入り約4・5ドル）、ケージフリー卵（同約3・0ドル）、オメガ3卵（同約3・0ドル）、ケージ卵（同約1・5～2・0ドル）の四つに大別した商品表示が見られた。が、エンリッヂドケージ表示は見られなかつた。同じ日に訪れた自然食

品とオーガニック食品専門店のホールフーズでは、ケージフリー卵とオーガニック卵が陳列されていた。卵が高く販売できるという意味で、商品の差別化はエンリッヂドケージ卵では難しいのではないかと思つた。消費者にとって、エンリッヂドケージ卵もまたケージ卵であるからである。

もしエンリッヂドケージを

盛り込んだ連邦法のエッゲビルが可決されいたら、新しい分類となる卵「エンリッヂド卵？」が先取りする養鶏生産者と量販店によって先行販売されていたかもしれない。エンリッヂドケージ（改良型ケージ）は、ケージの中に止

までもある。いずれにしても、ケージフリー卵市場占有率が2011年の5%から2012年には8%と倍増しているので、採卵企業は消費者のケージフリー卵選択の伸びを注視していく必要があるようと思われる。